

令和7年度 菊川市立加茂小学校 学校経営構想

1 学校経営の基本方針

(1)『基本理念は人間尊重の教育』

「笑顔で登校した子供を笑顔で帰す」

人間尊重の精神を基盤に「どの子もかけがえのない存在」の共通認識に立って一人一人を大切にすることを実践する。「命」と「人権」を大切にすることが全ての基本である。

(2)『主体性の伸張』

子供の思いを引き出し生かすことを通して、予測困難な時代で逞しく生きていくために必要な主体性を伸ばす教育を推進する。

(3)『地域との共育・共生』

菊西学舎コミュニティ・スクールの教育目標を目指した家庭や地域社会との連携を通して、地域とつながり信頼される「開かれた学校づくり」を推進する。

2 教育課題

- (1) 主体的に学び、意見を聞いて考えを深めたり、分かりやすく伝えたりする子
- (2) 仲間とともに学校生活の向上や行事・諸活動に主体的に参加しともに高め合う子
- (3) 優しい心をもち、相手の気持ちを考えた言動ができる子
- (4) 心身の健康を自己管理でき、目標に向かって粘り強く励むことができる子
- (5) 地域を知り、地域に誇りをもち、地域のために何ができるかを考えることができる子

3 学校教育目標と重点目標

◆学校教育目標

地域に誇れる 地域が誇れる子（3年目）

令和7年度 菊西学舎コミュニティ・スクール

- 学舎教育目標「地域に誇れる 地域が誇れる 菊西学舎」
- めざす子供像「学び合う子」

令和7年度 本校

- 学校教育目標：地域に誇れる 地域が誇れる子
- ※「地域に誇れる 地域が誇れる子」とは
 - ①重点目標に向かって努力する子
 - ②地域を知り、地域に誇りをもち、地域のために何ができるか考え行動する子
- 重点目標に向かって努力する姿そのものが「地域に誇れる 地域が誇れる子」である。（「相手よし、みんなよし」の中に、地域の人も含める。）

◆重点目標

自分で考え行動できる子 ～自分よし、相手よし、みんなよし～（3年目）

「自分で考え行動できる子」とは、課題を見つけ、解決のための計画を立案し、実行する。そして、結果を評価し、改善につなげていく子である。これら一連の活動を個人で進めることもあれば、周囲と協力しながら、高め合いながら進めていくこともある。

この姿が主体的な姿であり、ものごとを自分ごととしてとらえている姿である。

自分で考え行動できる子を育てるために、下記のような資質・能力を育てる。社会において必要とされる「基礎的・汎用的能力」とのつながりは下表のとおり。

重点的に育成する資質・能力		基礎的・汎用的能力
思いやり	・「自分は人の役に立っている」、「自分にはやれることがある」と考え行動する力 ・自分、相手、みんなのことを考え行動する力	○自己理解・自己管理能力 ○キャリアプランニング能力 ○課題対応能力 ○人間関係形成・社会形成能力
振り返る力	・自分のしたこと（活動・学習）が何につながりそうか考える力	
自分で学ぶ力	・目標に向けて、自分で計画を立てたり、学習材や学ぶ場を選択したりして、学び、個別に深める力	
学び合う力	・自分の考えを伝えたり、仲間の考えを聞いたり見たりし、自分の考えを協働的に深める力	
よりよくする力	・目標や目的に向かって、活動や練習を続け、振り返り、改善する力	
伝え合う力	・特別活動で、自分の意見を発信したり、友達の見解を受け入れたりする力	

これら「基礎的・汎用的能力」は、自分自身に関する能力、相手に関する能力、周囲に関する能力に分類される。これは「自分よし 相手よし みんなよし」につながる。（「育てたい主な能力」は、明確な分類を目指しているものではない。）

（※「基礎的・汎用的能力」は、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）平成23年1月31日」から）

4 学校経営目標

- (1) 互いを認め、高め合う人間関係をつくる。
- (2) 自主的、自治的な集団をつくる。
- (3) 主体的に学び合う学習集団をつくる。
- (4) 地域、保護者からの信頼をつくる。

5 数値目標（菊川市共通数値目標）※各項目における強肯定（あてはまる）の回答率（％）

項 目	R6 結果	R7 目標
① 学校が楽しい	69	71
② みんなで何かするのは楽しい	80	84
③ 授業に主体的に取り組んでいる	54	58
④ 授業がよく分かる	61	65
⑤ 学校に信頼することができる先生がいる	78	82
⑥ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	32	36
⑦ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	55	58

6 学校経営の重点と具体策

(1) 生徒指導

～居場所づくりと絆づくりを目指した4層構造による指導体制づくり～

◆生徒指導委員会（毎週1回）を開催し、組織的、継続的、迅速に対応する。

ア 発達支持的生徒指導

【第1層】

- ・一人一人の人権が大切にされた生徒指導が機能する授業
- ・「加茂っ子の生活」指導 ・「子供を語る会」による職員の共通理解
- ・魅力ある学校づくりにおけるPDCAサイクル（年間5回）

イ 課題予防的生徒指導＜課題未然防止教育＞【第2層】

- ・教育相談（面談・電話相談・家庭訪問等）の実施
- ・生徒指導記録（共有ドライブ・スズキ校務「日々の様子」）の作成・活用

ウ 課題予防的生徒指導＜課題早期発見対応＞【第3層】

- ・いじめアンケート（安心アンケート）の活用 ・安心相談の実施

エ 困難課題対応的生徒指導

【第4層】

- ・校内いじめ問題対策会議、校内ケース会議の実施

(2) 学びづくり部

～自分ごととして学習に取り組み、考えを深める子の育成～

ア 協働して深める授業の実践

- ・対話タイム、トークトレーニングを通して、話す聴く力をつける。

イ 個別に深める授業の実践

- ・自分の力を高める家庭学習（「けテぶれ学習」）
- ・まとめテスト
- ・ICTの活用

ウ 求められる資質能力の獲得・活用のため、各教科・領域間を系統性づけ、地域に広げるカリキュラムマネジメント

エ 学びのユニバーサルデザインの視点に立った授業改善・教室経営

オ 読書習慣の確立と学校図書館（読書センター、学習・情報センター）の利活用促進

(3) 笑顔づくり部

～自分、相手、みんなのことを考えた言動のできる子の育成～

- ア 「きらほ言葉」を見つけ、伝える（思いやり）
- イ 思いやりの心を持ち、親切にする子供を育成する道徳教育
- ウ 生活の基盤をつくる「加茂っ子の生活」の徹底
- エ 自ら健康な生活を目指すための健康教育の推進
（生活リズムの確立、早寝・早起き・朝ご飯、食育、保健指導）
- オ 自ら安全な生活を目指すための安全教育の推進
（安全指導、保健指導）
- カ 自分の身の周りの環境や仲間を大切にしようとする心を育成する清掃指導

(4) 活気づくり部

～意見を伝え合ったり、目標に向かって取り組み、評価・改善したりする子の育成～

- ア クラス会議を通した、自分の意見を伝えることができる学級づくり（伝え合う力）
- イ 当番活動、係活動、委員会の常時活動の継続 振り返り→改善→振り返り→（よりよくする力）
- ウ 「話し合い」→「実践」→「反省」→「成果の確認」による学級活動の充実
（自分・相手・みんなの考えで合意形成を図る）
- エ 運動の楽しさや喜び、仲間との協力のよさを知り、進んで運動に取り組む

(5) 家庭との連携

～菊西学舎コミュニティ・スクールの理念に基づく学校・家庭の連携～

- ア あいさつ運動（PTAの登校見守りあいさつ当番等）
- イ 「家庭学習の手引き」の共通実践
- ウ 持続可能なPTA活動（家庭教育学級、朝の登校安全指導）
- エ 連携を支える情報発信と受信（学校ホームページ、学校だより、HP、電話等）
- オ 教育相談の充実、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の有効活用

(6) 地域との連携

～菊西学舎コミュニティ・スクールによる、地域ぐるみの子供の育成～

- ア 地域の方と一緒に楽しむ活動（放課後子ども教室等）
- イ 加茂地区センターの諸活動との連携（地区文化祭、標語コンクールへの参加等）
- ウ 地域防災訓練への参加等、地域防災への意識の高揚
- エ 生活・総合を核としたカリキュラムマネジメント
…地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域に学ぶ、地域に誇りをもつ